



# 災害拠点病院として適切に対応できる役割

## 《災害対策ワーキンググループ検討結果》

2011年7月13日  
千葉県立佐原病院

# ☆災害対策ワーキンググループについて(震災後)

## 1. メンバー

医師3名・看護師2名・診療技術2名・事務2名

## 2. 開催日(毎週水曜日開催) 計6回

4月20日・4月27日・5月11日・5月18日・5月25日・6月1日

## 3. 検討内容

- ①災害対策本部の立上げ(災害発生時フローチャートの作成)
- ②緊急招集基準の確認
- ③30分以内参集者リスト
- ④アクションカードの作成
- ⑤トリアージエリアの設定
- ⑥災害時対応カルテの作成
- ⑦災害巡回時持参薬品リストの作成
- ⑧リフトの使用基準の作成
- ⑨夜間被災時の対応
- ⑩関係機関の連絡先の確認
- ⑪救急医療ネットの活用
- ⑫物品の準備(食料・飲料・ヘルメット・ライト・テント・井戸など) など

# 東日本大震災に関する看護師向けアンケート結果のポイント (その他意見の欄より)

## 1. よかったところ(主なもの)

- ①新館への移動は、大変でしたが、昨年の防災訓練が活きたと思った。
- ②地震発生後、子供を保育園に迎えに行かせてもらい感謝している。
- ③「家が近い人は自宅を確認してきてよい」と言ってもらい、子供の無事を確認できて、本当にありがたかった。

## 2. 不安に思うところ(主なもの)

- ①今後の震災時における家族との連絡方法・安否確認方法について
- ②災害対策本部の役割・本館の耐震性について
- ③防災マニュアルの作成(本館から新館への移動を含む等)
- ④防災用品の整備(飲料水・ヘルメット・ライト・患者搬送のための担架など)
- ⑤夜間における災害対策について

# ①災害対策本部の立上げ

**災害対策本部の目的**： 院内約400名の生命と安全を守ること。  
負傷した患者の治療に取り組むこと。

(1)設置場所： 院長室・事務局前  
会議の開催： 新館1階窓口前

(2)災害対策本部メンバー

- ①対策本部長： 院長
- ②医療関係責任者： 副院長
- ③行動指令責任者： 事務局長
- ④看護責任者： 看護部長

\* 責任者の決定原則(責任者不在の場合)

- 第一優先項目： 後職の上の者
- 第二優先項目： 経験年数の長い者
- 第三優先項目： 常勤勤務者

(3)災害発生時フローチャート ⇒ アクションカード  
災害発生時にとるべき行動を時系列にまとめたもの。  
⇒ 文章で作られたマニュアルの代わりになるもの。

## ②災害対応マニュアルの作成について

(例えば、本館新館間の患者移送)

「新館勤務なので、本館からの患者やスタッフの受入れ時のマニュアルが必要。」

マニュアルの意義とは？マニュアルで想定できる範囲は？

⇒全ての事態を想定してマニュアルを作成することなどできない。

3月11日の経験から、「必要なもの」「不用なもの」を選別し、職員に共有化しておくことが大切。



○今回の1つのCase：本館から新館への患者の移送

⇒ 実施するかどうかは、本部にて判断した。

(本部の指示について) ⇒ 事前の判断基準無し。

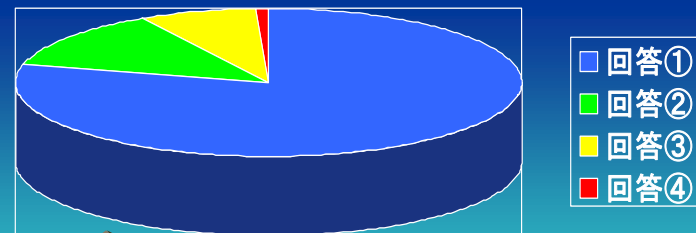
正しかったのかどうか検証する。

質問4 今回の大地震発生後、本館病棟入院中の患者さんを南館と新館に移動させることになりました。

この行動について

(回答率:92.9%)

- |                   |       |
|-------------------|-------|
| ①正しかったと思う。        | 79.0% |
| ②移動させるべきでなかったと思う。 | 12.6% |
| ③わからない。           | 7.7%  |
| ④その他              | 0.7%  |



# そこで災害時に対応したマニュアルとは？

- 災害時に対するマニュアル作成の必要範囲とは？  
→災害は時間や規模により全て対応が違う
- 職種、部門によってマニュアルは違う
- 患者の状況、職員の人数、その時の業務内容によって全て行動計画が違う



以上の条件下で防災対策としての心構えは？

# ③アクションカードの作成

作成されたアクションカード→救急外来にて一括保管  
(災害発生時に災害対策本部長より配布する)

## 警備員用 アクションカード(ブルーグレー)

場所:警備員室      業務:警備員周辺の安全確認・  
院内状況報告(電話等)

1. 大規模災害が発生しました。  
このアクションカードを受け取ったら、「警備員室周辺」の安全を確認してください(簡単でよい)。
  - ①周辺における負傷者の有無の確認
  - ②南館建物の損壊状況の確認
  - ③照明装置等の損壊状況(停電や断水の有無を含む)の確認
2. 安全が確認できたら、以下の職員に、電話で必ず、簡単な院内状況を報告してください(電話をかけることができる場合)。
  - ①〇〇院長:090-××××-△△△△
  - ②〇〇事務局長:090-××××-△△△△
  - ③〇〇管理課長:090-××××-△△△△
3. 警備員室にかかってくる電話に対応してください。  
外来患者への対応は、トリアージ実施中(救急外来入口に設置予定)は、トリアージ担当医師が行います。  
また、その際は、救急外来入口以外の入口は、全て閉鎖します。
4. 基本的に持ち場を離れないでください。本部立ち上げ後、これを離れる場合は、災害対策本部(設置場所:本館事務室を予定)へ連絡してください。

作成されたアクションカード: 21種類

- ・わかりやすく記載する。
- ・災害直後に最低限やらなければならないことを記載する。

# アクション カードの 種類

No	種類名
1	災害対策本部リーダー(院長)
2	災害対策本部(事務局長)
3	災害対策本部Dr.
4	赤エリアDr.リーダー
5	黄色リーダーDr.
6	黄色エリアDr.
7	緑エリアDr.リーダー
8	緑エリアDr.
9	緑エリア二次トリアージDr.
10	トリアージエリアDr.
11	看護部長
12	副看護部長
13	外来師長
14	病棟師長
15	手術室・中材師長
16	ME
17	黒タグエリア
18	管理課
19	医事経営課
20	総合案内係
21	警備員



# 事務局職員(医事経営課職員) アクションカード(黄)

場所:トリアージエリア

業務:情報収集とトリアージエリアの  
設置・補助

1. 大規模災害(香取市において震度5弱以上)が発生しました。このアクションカードを受け取ったら、院内の安全を確認してください。  
→災害対策本部は、原則「院長室・事務室」に設置されます。  
(本館の損傷状況によっては、「新館1階ホール」に設置する。)
2. トリアージ部署の設置をしてください。
  - ①テントを設営してください(救急外来入口前)
  - ②多目的ホールより机といすを、テント内に運び込んでください。
  - ③トリアージタグ・黒マジックなどを準備してください。
3. 患者リストを作成してください。
  - ①全患者リストを作成してください。  
リストには、以下のことを記入してください。
    - ・名前・性別・年齢
    - ・通過時間
    - ・搬送先
  - ②リストは随時、本部へ提出してください。
4. 効率よいトリアージの補助
  - ①状態の悪そうな患者を見かけたら、トリアージ医師・看護師を呼び、いち早くトリアージを受けさせてください。
5. 基本的に持ち場を離れないでください。
  - ①持ち場を離れる場合は、トリアージ担当医師に報告してください。

# ME アクションカード

場所:南館1階 医療安全室

業務:医療機器の点検・調整

## 1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置

確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください

- ・発生時刻 ( )
- ・災害の種類 ( )
- ・災害の場所 ( )
- ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
- ・被災者の到着推定時刻 ( )
- ・到着方法(救急車・ヘリ)

## 2. 医療機器を使用している患者の安全確認を行う

◎ コンセントが自家発電に繋がっているか

◎ バッテリーの持続時間について点検と交換

- \* 人工呼吸器
- \* 輸液ポンプ
- \* 透析

## 3. 各部署の状況を把握し本部へ報告する

# 副看護部長 アクションカード

場所: 院長室 車庫

業務: 連絡 相談 伝令

1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置  
確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください
  - ・発生時刻 ( )
  - ・災害の種類 ( )
  - ・災害の場所 ( )
  - ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
  - ・被災者の到着推定時刻 ( )
  - ・到着方法(救急車・ヘリ)
2. 副部長3名は①看護部内の総務担当  
②新館・救急外来担当  
③本館病棟・南2階病棟担当  
役割に従って連絡・相談・報告(伝令)業務に務めてください
3. 副部長は担当部署の状況確認後本部へ集合する  
看護部長へ状況報告と今後の対応についてミーティングを行う
4. 役割・スタッフ配置、報告ルートの確認をする
  - \* 報告方法  
看護部長への報告は、緊急時及び10分～15分間隔で状況報告する  
30分毎に本部に集合し情報を共有する
  - \* 担当者の役割内容  
病棟・外来担当者は被害状況を確認と師長(師長代行)のサポートを行う  
総務担当者は職員の召集状況の把握と調整・職員の被災状況・安否確認  
待機者の調整・職員の休憩場所と食事等の確保

# 看護部長 (看護総責任) アクションカード

場所: 院長室 車庫

業務: 看護総責任者

1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置  
確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください
  - ・発生時刻 ( )
  - ・災害の種類 ( )
  - ・災害の場所 ( )
  - ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
  - ・被災者の到着推定時刻 ( )
  - ・到着方法(救急車・ヘリ)
2. 本部にて看護総責任者を務めてください
3. 副部長3名に病棟・外来の状況把握を指示する
4. 病棟・外来の師長(師長代行)は「被害状況報告書」を基に状況把握し10分以内に本部への報告指示する
5. 副部長・師長(師長代行)は本部集合し状況報告を受け今後の対応についてミーティングを行う
6. 役割・スタッフ配置、報告ルート(PHS番号)の確認をする
  - \* 役割
    - 1) 副部長: 職員の召集状況の把握と調整
    - 2) 副部長: 本部に待機し連絡・伝令(本館側・南館)
    - 3) 副部長: 本部に待機し連絡・伝令(新館・外来)
    - 4) 外来師長: トリアージエリア看護師の配置を支持
    - 5) 病棟師長: 職員の安否確認と応援職員の調整 受け入れ患者数の確認
    - 6) 地域連携師長: 黒タブエリア
  - \* 報告ルート  
職員に関する報告は◎◎副部長  
受け入れ患者数の報告は外来師長

# 外来師長 アクションカード

場所:新館1階~2階・救急外来

業務:外来の安全確保

被災者の受け入れ態勢を整える

1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置  
確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください
  - ・発生時刻 ( )
  - ・災害の種類 ( )
  - ・災害の場所 ( )
  - ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
  - ・被災者の到着推定時刻 ( )
  - ・到着方法(救急車・ヘリ)
2. 外来患者・付き添い・スタッフの安全確認をする
  - \* 患者の所在を把握する(各科外来・検査中・入院病棟移動中等)
  - \* 外来患者の避難・誘導・救護
  - \* スタッフの被災状況
3. 設備の安全確認をする
  - \* 使用できる場所を把握する
4. 外来師長は状況確認後本部へ集合する  
看護部長へ状況報告と今後の対応について  
ミーティングを行う
5. 救急外来にトリアージエリアを準備し被災者の受け入れ  
エリアを整える
  - \* 赤エリア(救急処置室)
  - \* 黄エリア(多目的ホール)
  - \* 緑エリア(初療エリア)
6. 外来患者数は随時本部へ報告する

# 手術室・中材師長 アクションカード

場所:本館5階

業務:手術室・中材の総括

1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置  
確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください
  - ・発生時刻 ( )
  - ・災害の種類 ( )
  - ・災害の場所 ( )
  - ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
  - ・被災者の到着推定時刻 ( )
  - ・到着方法(救急車・ヘリ)
2. メンバー・設備・患者の安全確認をする
3. 現行手術の進行状況調整する
4. 受け入れ準備状況を確認する
5. 不足器械・物品の準備・滅菌する
6. 手術・中材師長は状況確認後本部へ集合する  
看護部長へ状況報告と今後の対応について  
ミーティングを行う

# 病棟師長 アクションカード

場所：病棟

業務：病棟の患者・スタッフの安全確保

## 1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置

確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください

- ・発生時刻 ( )
- ・災害の種類 ( )
- ・災害の場所 ( )
- ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
- ・被災者の到着推定時刻 ( )
- ・到着方法(救急車・ヘリ)

## 2. 病棟患者・付き添い・スタッフの安全確認をする

\* 入院患者の確認

患者数の所在を把握する(手術・検査・リハビリ等への確認を指示する)

\* 病棟患者の避難・誘導・救護

\* スタッフの被災状況

## 3. 設備の安全確認をする

\* 使用できる場所を把握する

\* 病棟の増床、救急外来・他病棟からの患者受入準備

## 4. 師長は状況確認後本部へ集合する

看護部長へ状況報告と今後の対応についてミーティングを行う

## 5. 看護部長へ病棟の状況を随時報告する

# 事務局職員(管理課) アクションカード(緑)

場所: 対策本部

業務: 院内放送  
消防関係・県との連絡調整

1. 大規模災害が発生しました。  
このアクションカードを受け取ったら、病院内での以下の事項を確認してください。
  - ①エレベーターの稼働状況
  - ②病院内の負傷者の有無
  - ③病院内で使用可能な伝達手段  
( PHS・携帯・一般電話・その他( ) )
2. 消防署・県庁(病院局)等と連絡を取る。  
防災無線にて連絡を取ってください。(携帯電話等も可)  
安否確認・ライフライン等の状況確認を、本部から離れずに行ってください。情報は、入り次第、災害対策本部長へも連絡ください。  
—電話番号—  
佐原消防署:0478-52- △△△△  
県庁(病院局):043-223- △△△△  
香取市役所:0478-54- △△△△  
佐原高校:0478-52- △△△△
3. 本部の指示に従い、院内放送を落ち着いて行ってください。
4. 基本的に持ち場を離れないでください。



# 警備員用 アクションカード(ブルーグレー)

場所: 警備員室

業務: 警備員周辺の安全確認・  
院内状況報告(電話等)

1. 大規模災害が発生しました。  
このアクションカードを受け取ったら、「警備員室周辺」の安全を確認してください(簡単でよい)。
  - ①周辺における負傷者の有無の確認
  - ②南館建物の損壊状況の確認
  - ③照明装置等の損壊状況(停電や断水の有無を含む)の確認
2. 安全が確認できたら、以下の職員に、電話で必ず、簡単な院内状況を報告してください(電話をかけることができる場合)。
  - ①〇〇院長: 090-××××-△△△△
  - ②〇〇事務局長: 090-××××-△△△△
  - ③〇〇管理課長: 090-××××-△△△△
3. 警備員室にかかってくる電話に対応してください。  
外来患者への対応は、トリアージ実施中(救急外来入口に設置予定)は、トリアージ担当医師が行います。  
また、その際は、救急外来入口以外の入口は、全て閉鎖します。
4. 基本的に持ち場を離れないでください。本部立ち上げ後、これを離れる場合は、災害対策本部(設置場所: 本館事務室を予定)へ連絡してください。

# 黒タブエリア アクションカード

場所:薬局(プレハブ)

業務:黒タブエリア担当

## 1. 「大規模災害」宣言と「災害対策本部」の設置

確認事項(内容は随時更新されます)を確認してください

- ・発生時刻 ( )
- ・災害の種類 ( )
- ・災害の場所 ( )
- ・病院に搬送される予想被災者の数 ( )
- ・被災者の到着推定時刻 ( )
- ・到着方法(救急車・ヘリ)

## 2. 黒タブエリアを担当する

## 3. 担当者は本部へ随時報告する

# 災害対策本部(事務局長) アクションカード

場所: 対策本部

業務: 災害対策本部の立上げ  
ライフライン復旧指示など

1. 大規模災害(香取市において震度5弱以上)が発生しました。「災害対策本部」を以下の場所へ設置してください。  
→原則「院長室・事務室」に立ち上げる。  
(本館の損傷状況によっては、「新館1階ホール」に設置する。)
2. 以下の事項を確認してください(情報収集)。
  - ①病院内スタッフの数(負傷者数)
  - ②病院内患者の負傷者の有無(その数)
  - ③病院内で使用可能な伝達手段  
( PHS・携帯・一般電話・その他( ) )
  - ④病院のライフライン状況( 水・電気・ガス・重油 )
3. ライフラインに損害がある場合、復旧に向けて各業者へ連絡をとる、事務局職員に作業を指示するなどしてください。
  - ①管理課職員に適宜指示を出してください。  
( 医事経営課職員は、トリアージセンター設営を担当します。 )
  - ②事務局以外の職員とも連携し、適切な体制を構築してください。
4. 適宜県庁(病院局)・香取市・他の県立病院などへ情報を提供するなど、他の関係機関と連絡をとってください。
5. マスコミへの情報提供やボランティアへの対応方針を決定してください。
6. 基本的に災害対策本部において、情報を収集してください。

# 災害対策本部長(院長) アクションカード

場所: 対策本部

業務: 災害対策本部の立上げと  
医師招集・アクションカードの配布

1. 大規模災害(香取市において震度5弱以上)が発生しました。「災害対策本部」を以下の場所へ設置してください。本部において「対策本部長」を務めてください。  
→原則「院長室・事務室」  
(本館の損傷状況によっては、「新館1階ホール」に設置する。)
2. 以下の事項を確認してください(情報収集)。
  - ①病院内スタッフの数(負傷者数)
  - ②病院内患者の負傷者の有無(その数)
  - ③病院内で使用可能な伝達手段  
( PHS・携帯・一般電話・その他( ) )
  - ④病院のライフライン状況( 水・電気・ガス・重油 )
3. 医師を招集し、アクションカードを配布してください。  
緊急連絡網等により、医師を招集してください。  
参集した医師にアクションカードを配布してください。  
(アクションカードは、救急外来に置いてあります。)
4. 院内の被害状況をふまえ、受入れ可能患者数を決定してください。
5. 基本的に災害対策本部において、情報を収集してください。

# 総合案内

## アクションカード(ピンク)

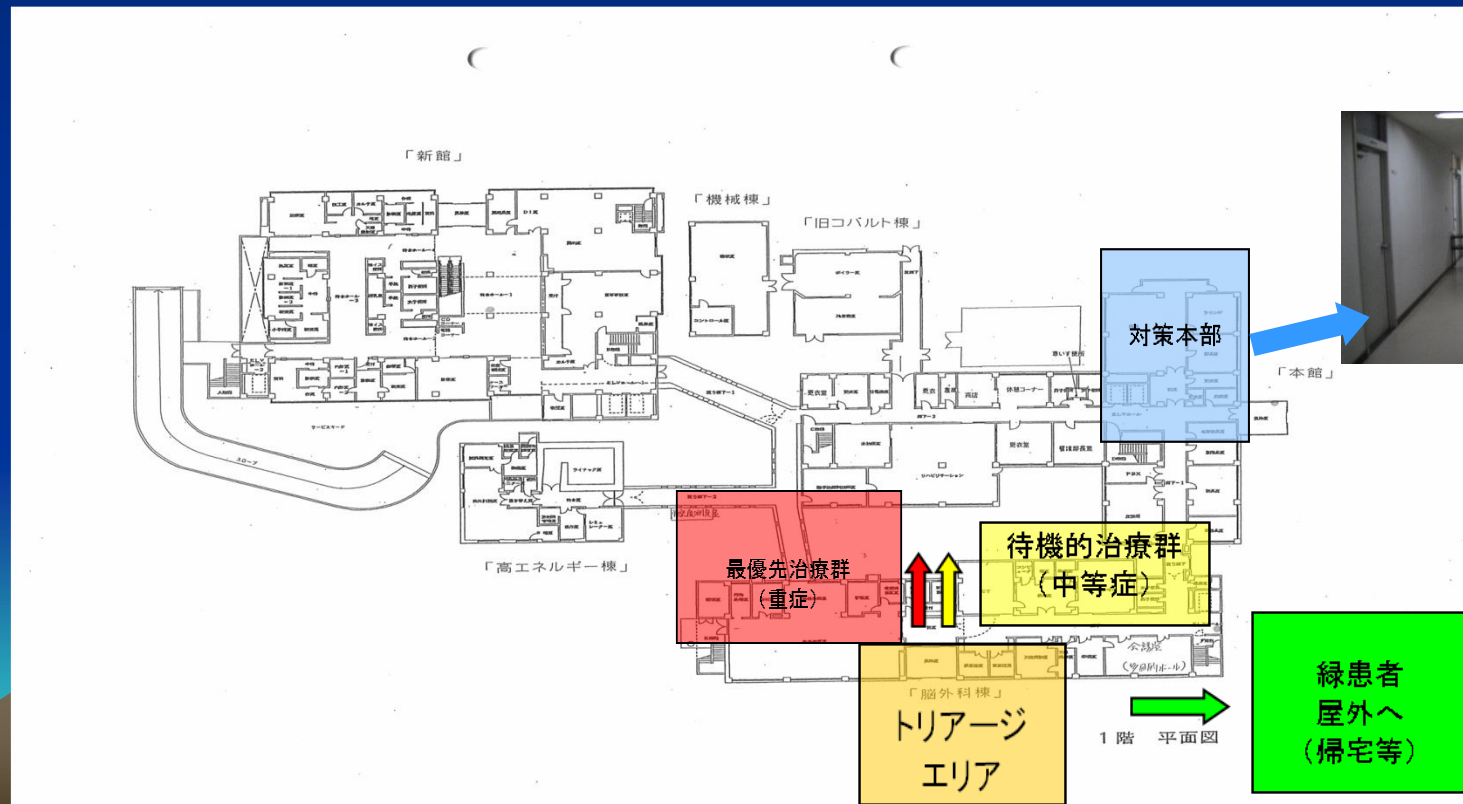
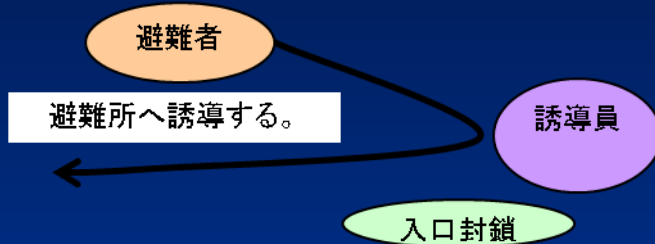
場所:新館前玄関

業務:避難者を他の避難場所へ  
誘導する。

1. 大規模災害が発生しました。  
このアクションカードを受け取ったら、所属部署内での安全確認を行ってください。
  - ①負傷者の有無
  - ②建物の損壊状況
  - ③機械の稼働状況
2. 安全が確認できたら、本部へ行き、避難者の誘導に関する指示を受けてください。
  - ①本部は、原則として「院長室・事務室」に設置されます。
  - ②新館入口を閉鎖するかどうかの確認をしてください。  
→閉鎖する場合は、新館入口前に立ち、避難者を誘導します。
  - ③避難者の、向うべき避難場所を確認してください。  
(香取市より佐原高校が避難場所に指定されています。)
3. 新館玄関前で、避難者を避難場所へ誘導してください。  
病院としての機能を保持するための誘導です。  
避難者は、避難所へ誘導してください。
4. 基本的に持ち場を離れないでください。

# ④トリアージエリアの設定

- ・トリアージ担当医は治療に参加せず、専任で行う。
- ・トリアージ結果には、他の者は私見をはさまない。
- ・トリアージエリアの机等は、多目的ホールより運ぶ。
- ・災害時、院内には患者以外を入りこませない。  
(病院機能の保持のため。避難者は院外誘導する。)



# 災害対策本部

# 医療局組織

災害対策本部長  
〇〇院長

災害対策委員長  
[〇〇]

## 医療支援部門

- ・看護部
- ・薬剤部
- ・検査課
- ・放射線科

外科医・脳外科医・麻酔医  
[〇〇・〇〇・〇〇]

内科医  
[〇〇]

小児科医  
[〇〇]

トリアージエリア  
[〇〇・〇〇]

病棟手術室担当  
[〇〇・〇〇・〇〇]

黒タグエリア  
[〇〇・〇〇]

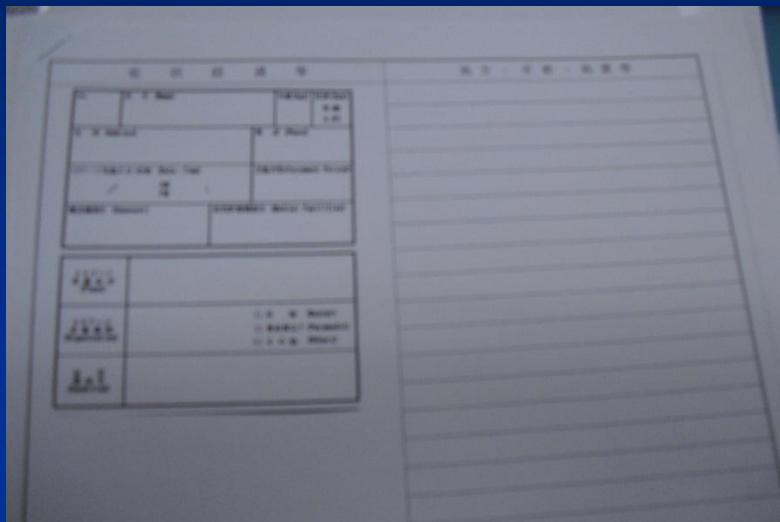
緑エリア(初療エリア)  
[〇〇・〇〇・〇〇]

黄エリア(多目的ホール)  
[〇〇・〇〇・〇〇]

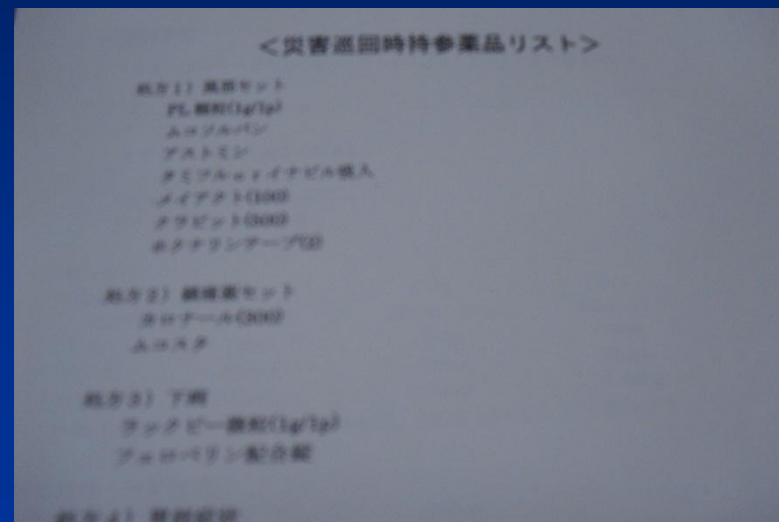
赤エリア(救急処置室)  
[〇〇・〇〇・〇〇・〇〇]

黄色エリアスタッフは、赤エリアスタッフが足りない場合、赤エリアの応援に入ること。

## ⑤薬品の準備・カルテの準備



災害時対応カルテ



災害巡回時持参薬品  
リスト



## ⑥防災用品の準備

### (1)ヘルメット

今後の地震に備えて、ヘルメット(日勤者数分:約150名)が必要?  
日常時はどこに置くのか?



### (2)食料・飲料水

災害時の職員用の食料が必要?

現在備蓄されている食料は、入院患者用(2日分程度・飲料水は144L)

→仮に、職員用の非常食(3日分)と入院患者用(1日分追加)を準備するとしたら・・・

食料(120人x3日分):約30万円

飲料水(120人x3日分):約4万円

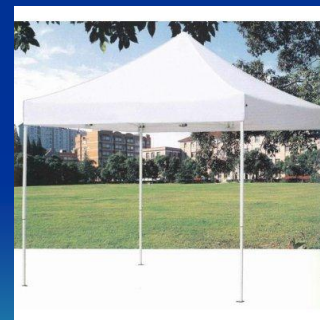
患者用(200人x1日分):約16万円 合計約50万円



### (3)テントの設置(トリアージエリアの設営など)+投光機



### (4)井戸の設置



### (5)通信手段の確保

- ・災害用PCの準備
- ・「ちば救急医療ネット」の活用⇒災害時の情報発信
- ・防災電話⇒関係機関への連絡

## ⑦夜間の警備体制について

管理当直者が、災害対策本部長代理として、災害対策本部を立ち上げる。

- ・入院患者の被害状況、建物設備の被害状況を確認する。
- ・警備員は、アクションカードに従って、連絡をする→連絡網の出発点  
(院長・事務局長・管理課長へ連絡する)
- ・参集基準に従い、職員は参集する。

⇒これで十分？

**副当直は15分以内に参集する。**

### 30分以内参集者リスト

医局:11名・看護部:99名・薬剤部:4名・臨床検査課:6名  
放射線科:4名・リハビリテーション科:2名・栄養科:2名・事務局:5名

**合計:133名**

## アンケートの質問1

「自宅が被災した場合、病院が無事なら、病院内の休める場所を使わせてほしい。」

→以下の場所を臨時の宿泊施設として提供してはどうか？（原則1週間限度で）

男性用臨時宿泊場所



元の薬局

女性用臨時宿泊場所



保育所

## アンケートの質問2

「ディズニーランドは、月に1回は防災訓練をやっていたから、スタッフ全員、あつたしなかったらしい。」



=



職員一人当たりの訓練の頻度は、同じ。



今年の防災訓練は？

- ・トリアージの実践
- ・患者の移送

# 資料1)非常用電源装置の現状

\* 非常用電源の能力

出力:600KVA

継続運転時間:100時間

項目	内容	非常用電源対応	UPS対応
エレベーター	エレベーター	△	×
自動ドア	自動ドア	×	×
通信	電話交換機	○	○
	インターネット	○	○
電子カルテ 医事システム	サーバー	○	○
	基幹ネットワーク機器	○	○
	末端ネットワーク機器	○	○
	端末	△	△
給排水	給水関係	○	×
	排水関係	○	×
熱源	冷暖房関係	×	×
	給湯関係	×	×
	酸素・吸引	○	×
	調理関係	○	×
防災設備	火災報知機	○	○
	スプリンクラー	○	×

項目	内容	非常用電源対応	UPS対応
室内電気	医局	△	×
	看護局	△	×
	外来	△	×
	手術室	△	×
	ナースステーション	△	×
	病室	△	×
	透析室	△	×
	臨床検査	△	×
	生理検査	△	×
	医療用冷蔵庫・冷凍庫	△	×
	薬剤	△	×
	CT	×	×
	MRI	×	×
	アンギオ	×	×
	操作室	△	×
	給食	△	×
	事務局	△	×
医事課	△	×	

# 災害発生時フローチャート

災害発生

災害対策本部設置(設置場所:院長室・事務局)

(多人数の会議:新館1階窓口前)

初期行動

- ◎各部署が行う内容(院内)
1. 自己の安全を守る
  2. 被害状況の報告
  3. 二次災害の予防
  4. 避難の準備
  - (5. 家族との連絡)

- ◎対策本部が行う内容
1. 情報収集
    - ①院内被害(人・設備)
    - ②院外被害
  2. 非常召集
  3. 外部連絡(県庁等)
  4. 情報発信  
(院内:全館放送)

(本部)被害状況のまとめ

(本部)避難か医療継続かの判断

出入り口の本  
一本化

継続

避難

外来

トリアージ

治療

転院

入院

外来のみ

ライフライン途絶時の  
供給の体制開始

外部協力者受付  
ボランティア・マスコミ受付

薬剤・食事の供給

後方病院確認  
情報発信(救急医療ネット)

## 災害対策本部・行動指針

災害対策本部の目的：院内約400名の生命と安全を守ること  
負傷した患者の治療に取り組むこと。

- ①被害の大きい損害が生じたら、迷わず設置すること。
- ②本部設置の時間と場所を院内にアナウンスすること。  
必要に応じ院内放送により継続的に情報発信すること。
- ③人的・物的被害(ライフライン・通信手段含む)を把握すること。
- ④避難か医療継続かの判断を行うこと。  
ちば救急医療ネット(広域災害情報)に方針を登録すること。
- ⑤参集した職員に対し、適切に役割分担をすること。  
アクションカードを活用すること。
- ⑥DMAT・医療救護班・マスコミ・ボランティアの受け入れること。

---

## 職員行動指針

- ①まず自らの身の安全を確保すること。
- ②対策本部の指示に従い行動すること。
- ③患者の安全を確保し、不安を取り除くよう努めること。
- ④家族との連絡方法を確保すること。
  - ・NTT災害用伝言ダイヤル(171)
  - ・Google(Personal Finder)
  - ・Twitter など
- ⑤参集する場合は、必要となる物を持参すること。
  - ・飲料水及び食料
  - ・ウェットティッシュ・歯ブラシなど衛生用品 など



# 大災害に遭遇した時のリーダーが取るべき行動

## (1) 建物損傷確認

早く、現場の状況を知ること

建物の損傷レベルによって次の行動が変わる

## (2) 対策本部での役割

- 院内放送(災害対策本部設置場所)
- 対策本部の要員を放送通知し任命
- 救急・各病棟責任者(医師)を任命
- 看護局、診療技術部門等は各職場長を任命指示
  - ※夜間・休日の場合は、職員体制をみて仮災害対策本部を設置

## (3) 緊急時リーダーの行動

### 《概要》

- 患者と職員全員の安否確認
- 被災状況を把握(ライフライン等設備状況・通信機器等)
- 緊急連絡網により職員全員へ正確な情報伝達
- 人員の確保
- 優先順位を立て、業務分担
- 被害状況を報告指示
- 職種にこだわらず全員に指示
- 周辺地域の被害状況
- 全て速やかに行う
- 通常業務になるまでの立場と役割  
(対策本部の指示・命令は、最優先)
- 記録を残すこと(カメラマンの指示)



# 《リーダーの心構え》

## □《対策本部での配慮》

- ・対策本部に職員が集合し待機している場合  
ただ何をしていいか判らなくなるのが危険  
注意: 指示をくれない。仕事がないなどのクレームが出ないように配慮する。  
※指示待ち人間は救済活動にマイナス効果  
ハイキング、山行などの経験者がいい。



## □災害直後の状況が収まったら『通常状態』に戻すことを最優先

- ①水道→給水車による応援確認
- ②電気→自家発電の確認
- ③下水→バキュームカー確認
- ④燃料→重油・ガソリン・灯油等調達
- ⑤食材→地元以外で手配確認
- ⑥薬剤→血液・抗生剤等の確保



直ぐに大渋滞・品不足が発生(買占め)

# 東日本大震災で得たもの

- 職員の危機管理に対する心構えが増幅した
  - その時、その場の状況に併せた行動ができるようになった。(自らの判断で行動)
  - 行動が早くなった(迅速化)
- ↓
- 大震災以後、職員の意識変化【経験に勝るものはない】

# 災害時のリーダータイプとは！

- どんな場所でも平気な人(直ちに行動し、指揮できるタイプ)
- 日常業務で直ぐに行動に移せる人

## ※意外な行動パターン

- ①どうでもいい人と思った人が震災時に見たこともない一面を見出す。
- ②いざ大地震となると口先だけで、当てにできない人

(緊急時に腰が引ける、抜けるタイプ)

災害は、忘れた頃に起こる。



- 常に心の準備

# ご清聴ありがとうございました。

